

**防衛省からの説明内容等**

説明によると、鹿屋基地で実施される訓練は、離発着訓練、地上給油訓練、荷下訓練の3種類です。訓練の概要は次のとおりです。

**離発着訓練の概要**

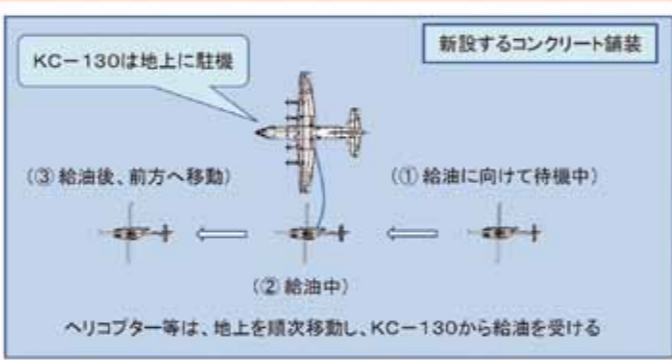
日中及び夜間に、海上自衛隊のP-3Cと同じ場周経路を飛行し、タッチ・アンド・ゴーや滑走路上の特定の位置に停止する訓練



※日中、夜間ともに月8回程度、1回あたり約4時間程度行う。

**地上給油訓練の概要**

日中及び夜間に、地上に駐機したKC-130から、米軍のCH-53等のヘリコプターやMV-22オスプレイに給油する訓練

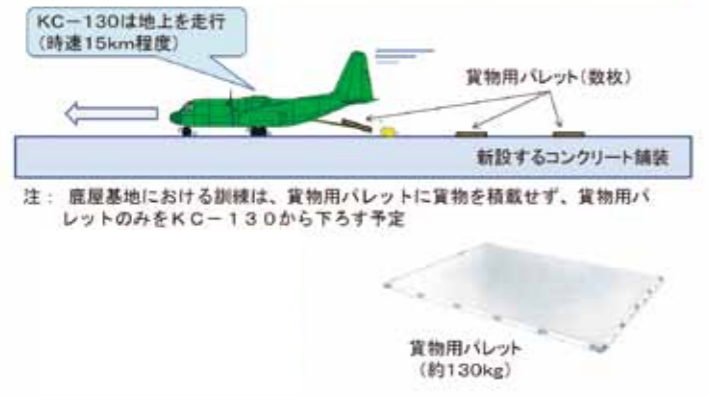


注：ヘリコプター等については、1回の訓練当たり2～4機程度を予定

※月2回程度、1回あたり約6時間程度行う。

**荷下訓練の概要**

KC-130のハッチを開けた状態のまま、地上を走行しながら、貨物を下ろす訓練



※月2回程度、1回あたり約4時間程度行う。

**ローテーション展開後の騒音予測コンター図**



注1:騒音予測コンター図については、現在の海上自衛隊機による騒音に、KC-130のローテーション展開後の騒音を加味したものを想定し作成  
注2:KC-130の飛行経路は、鹿屋基地におけるP-3Cと同様と想定  
注3:KC-130の飛行回数は、現在、日米間で調整中の訓練内容を基に、最大値を想定

※予測コンター(75W)では、現在の第一種区域の東側で若干広がる。

**※騒音予測コンター図とは**

鹿屋基地におけるローテーション展開後の騒音の予測を行うために作成したもので、騒音データ、飛行経路、1日の標準的な飛行回数によりWECPNL値(うるささ指数:以下W値)を算出し、W値75以上の騒音レベルが等しい地点を線で結んだものです。75W値以上の区域は、第一種区域に指定されると住宅防音工事の補助対象地区となります。

**海上自衛隊鹿屋基地における施設整備位置図**



※訓練はいくつかを組み合わせて実施される可能性があります。

※KC-130は訓練1回あたり1機飛来

※各図は5月18日に防衛省から配布された資料をそのまま掲載したものです(一部文字を大きくしています)。

※資料は、市ホームページにも掲載しています。

[http://www.e-kanoya.net/htmbbox/kikaku/kyuuyuki\\_kunren.html](http://www.e-kanoya.net/htmbbox/kikaku/kyuuyuki_kunren.html)

市政策推進課(3階) ☎ 31-1125



**在日米軍再編について防衛省から説明が行われました**

5月18日(月)に、防衛省の原田政務官が来庁し、中西市長、下本地議長及び原口副市長に、空中給油機KC-130の鹿屋基地における訓練概要等の説明がありました。

これは、平成18年5月の「再編の実施のための日米ロードマップ」における空中給油機KC-130の海上自衛隊鹿屋基地へのローテーション展開について、日米間の協議が一定程度進んだことによるものです。

今後市としては、今回の説明内容を精査し、国から詳細な情報提供をいただきながら、市民の皆さんに対して丁寧に説明を行い、そして、市議会、地域、住民の声を伺いながら、市民の安全安心を第一に考えて対応してまいります。



▲6月4日、基地周辺町内会や各種団体等で構成する基地関係連絡協議会において説明を行いました。



▲KC-130

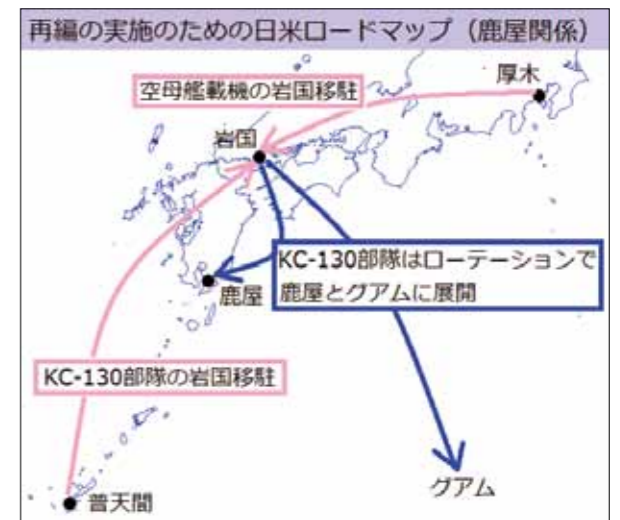
**※空中給油機KC-130とは**

空中給油のほか人員・物資の輸送などを目的とした4発エンジンの多目的輸送機で、大きさは鹿屋基地に配備されているP-3Cとほぼ同じ大きさで、出力が同程度のエンジンを4機搭載しています。

**鹿屋基地に係る在日米軍再編の経過**

在日米軍の再編は、抑止力の維持を図りつつ、米軍基地が集中する沖縄の負担を軽減するため、在日米軍や自衛隊の配置などを見直すものです。

鹿屋基地関係では、右図のとおりKC-130部隊の普天間基地から岩国基地への移駐(平成26年8月完了)、空母艦載機の厚木基地から岩国基地への移駐(平成29年予定)に伴い、KC-130部隊の鹿屋基地・グアムでの訓練及び運用のローテーション展開が予定されているところです。



◎平成17年10月29日

「日米同盟：未来のための変革と再編」(中間報告)

○普天間飛行場から岩国飛行場に移駐されることとなっているKC-130については、他の移駐先として、海上自衛隊鹿屋基地が優先して、検討される。(※鹿屋基地関係分 抜粋)

◎平成18年5月1日

「再編の実施のためのロードマップ」

○KC-130飛行隊は、司令部、整備支援施設及び家族支援施設とともに、岩国飛行場を拠点とする。航空機は、訓練及び運用のため、海上自衛隊鹿屋基地及びグアムに定期的にローテーションで展開する。KC-130航空機の展開を支援するため、鹿屋基地において必要な施設が整備される。(※鹿屋基地関係分 抜粋)

◎平成27年5月18日

空中給油機KC-130の鹿屋基地における訓練概要等について防衛省から説明